

## 単元の目標

💡 漢字についての意識を高め、漢字の構成について理解を深める。

## 本時で育む情報活用能力

## 【基本的な操作の習得】

- ・ マウスの使い方を理解する。

## 【プログラミング的思考】

〈分解〉 漢字をへんやつくり等に分解する。

〈組み合わせ〉 へんとつくり等を合わせて漢字を完成させるために、順序を考えたり、動きを変えたりし、命令の組み合わせを考える。

**必要なICT環境** ・ 使用端末 コンピュータまたはタブレット型PC  
 ・ 使用教材 Viscuit (ビスケット)

## 授業の流れ

	児童の学習活動	教員の指導・留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字がへんやつくりなどから構成されていることを復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ これまでに学習したへんやつくりを思い出させ漢字の構成について振り返らせる。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">へんやつくりなどを合わせて漢字をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のめあてを持つ。</li> <li>・ Viscuitの基本操作について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学習のめあてを確認させる。</li> <li>◎ Viscuitの操作について、確認させる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字をへんとつくりに分け、合わさったら一つの漢字になるプログラムをつくる。</li> <li>・ たくさんの漢字をつくることで漢字の構成について理解を深める。</li> <li>・ へんとつくり以外の部首を使って漢字をつくる。</li> <li>・ 友だちのつくったプログラムをみて、自分のプログラムを修正、改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「へんとつくりが合わさった時に一つの漢字になるプログラムをつくりましょう」</li> <li>◎ 慣れてきたら同じへんやつくりで複数の漢字ができるプログラムをつくるよう指示する。</li> <li>● 「できた漢字を友だちと見せ合いましょう」</li> <li>◎ 漢字の構成に関する気づきや児童が試行錯誤していた様子などを全体に対して紹介する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノート等に学習の振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「今日の学習で分かったことや思ったことを書きましょう」</li> <li>◎ 単元目標である、「漢字の構成の理解」について、情報活用能力の両方の観点で振り返らせる。</li> </ul>
まとめ		